

■Prologue

嗯……應該是這間休息室沒錯……。

えっと…確か、この楽屋だったはず…。

……啊，找到了。

……あ、いたいた。

……那個，突然打擾不好意思。

……えっと、急にごめんなさい。

你是澄華醬的關係人，對吧？

澄華ちゃんの関係者の方で、合ってるよね？

其實有個臨時的拍攝工作，她好像沒辦法來了。

実は、急な撮影の案件が入って、来れなくなっちゃったみたい。

她說沒能見面真的很抱歉喔。

会えなくてごめんなさいって言ってたよ。

……嗯～澄華醬真的很忙呢。

……うーん、澄華ちゃんってすごく忙しいから。

可能連通知的時間都沒有吧？

伝える暇もなかったんじゃないかな？

……啊，不，我今天剛好休假，所以沒問題喔。

……あ、ううん。私はこの後オフだったから、全然平気。

而且，聽說你是澄華醬的關係人嘛……

それに、澄華ちゃんの関係者って聞いたから……

我就很好奇是怎樣的人呢。

どんな人なのかなって。

……嗯，沒什麼改變呢。

……うん、あんまり変わってない。

……嗯？ 啥啊，是什麼意思呢。

……ん？ さあ、なんのことだろ。

比起那個，你知道我是誰嗎？

それより、私のこと、誰か分かる？

.....嗯～算是答對一半啦。
.....んーっと。半分正解。

確實是偶像「櫻坂希空」沒錯.....

確かに、アイドルの櫻坂希空ではあるけど.....

真的完全想不起來嗎？

ほんとに分からない？

.....這樣啊，那試著叫我「希空醬」看看？

.....そっか。なら、試しに希空ちゃんって呼んでみて？

.....沒關係啦，叫嘛～

.....いいから、ね。

.....呵呵，對啦。你終於發現了。

.....ふふ、そうだよ。やっと気づいた。

唉呀～我有點受傷喔。

あーあ、ショックだなー。

我還以為我們以前關係還不錯呢.....

昔はそれなりに仲良しだったと思ってたんだけど....

.....呵呵。開玩笑的啦。那種馬上道歉的樣子，跟以前一模一樣呢。

.....ふふっ。なんて、冗談だよ。そうやってすぐに謝るとかも、あの頃と一緒にだね。

好久不見了。應該是從小學以來吧。

久しぶり。小学校以来、かな。

雖然以前同班，但畢業後就去不同的學校了.....

同じクラスだったとはいえ、卒業してからは別々の学校になっちゃったし...

你不記得我的夢想了也.....嗯，也不能怪你啦。

私の夢のこと、覚えてないのも.....まあ、無理はないかな。

其實我啊，也跟澄華醬一樣，是朝著偶像這條路努力的喔.....

実は、私も澄華ちゃんと一緒に、目指してたんだよ.....アイドル。

.....啊，你想起來了？呵呵，太好了～

.....あっ、思い出してくれたの？ ふふっ、やったあ。

.....嗯。當偶像，是我從小的夢想.....

.....うん。アイドルは、昔からの夢だったから...

雖然爸媽一直都反對，但我實在放不下.....

ずっと両親に反対されてたんだけど、でも、諦めきれなくて...

下定決心要被斷絕關係也要開始這條路.....

縁を切られる覚悟で始めちゃった...

但啊，現在真的非常開心。

でもね、今はすっごく楽しいんだ。

雖然舞蹈練習超～級辛苦.....

ダンスの練習とか、すっごく大変だけど...

但現在我滿滿都是「開始這條路真是太好了」的心情。

今は、始めて良かったって気持ちでいっぱいだよ。

.....別、別連那種事都想起來啦～

.....も、もう、そんなことまで思い出さなくてもいいってばあ。

說起來，小時候還說什麼偶像特訓，

そういえば、小さい頃はアイドルの特訓とか言って、

經常拖你陪我練到很晚呢.....

遅くまで付き合わせちゃったこともあったっけ...

不過啊，正是因為那些回憶，現在的我才能存在.....

けど、それがあったからこそ、今の私があるのも事実だから...

是美好的回憶呢.....

いい思い出、かな...

.....嗯？ 沒事啦，不用在意我喔？

.....ん？ まあ、うん...私の事は気にしないで？

既然好不容易見面了，我還是想多聊一會兒.....

せっかくだから、もうちょっとお話したいかなって...

.....不行嗎？

...だめ、かな？

.....呵呵，那就這麼決定囉。

.....ふふつ。じゃ、決まりだね。

啊，說到澄華醬.....

あ、澄華ちゃんと言えば...

其實我聽過一個這樣的傳聞.....

実は私、こんな噂を聞いたことがあるんだ...

雖然不知道是不是真的.....

本当かどうかはわからないんだけど...

聽說有個狂熱的粉絲男孩，跟澄華醬還有天音小姐.....

とある熱心なファンの男の子が、澄華ちゃんや、天音さんと...

做了一些不可以說的事喔。

イケナイことをしてるみたいなんだって。

.....如果被揭發了，被其他粉絲報復也不奇怪的那種事呢？

...もしバレたら、ファンの人たちに襲われちゃってもおかしくないようなことを...ね？

.....嗯~？ 你怎麼突然一抖，是怎麼了？

.....んー？ 急にびくってして、どうしたの？

啊.....該不會，你對那個粉絲男孩有印象吧？

あ...もしかしてえ、そのファンの子に心当たりでもあるのかな？

還是說.....那個男孩，其實就是你？

それとも...そのファンの男の子って、君だったりして...？

.....唉呀，別這麼害怕啦。

.....ん、もう、そんなに怖がらなくてもいいのに。

.....我又沒打算威脅你喔？

.....別に、脅すつもりなんてないよ？

如果硬要說的話，也就只是個小遊戲罷了。

しいて言うなら、ほんのお遊び...かな。

只是對你的反應感到好奇而已。

君がどんな反応するのか、気になっちゃって。

.....其實呢，我啊.....是從澄華醬那裡聽來的一切喔。

.....本当のことを言うとね、私...澄華ちゃんから全部聞いてるんだ。

關於你跟澄華醬，還有天音小姐之間的關係.....

君と澄華ちゃん、それに天音さんとの関係のことも....

澄華醬看到你跟天音小姐的關係時，好像有點困惑呢。

澄華ちゃん、君と天音さんの関係を見て、少し戸惑ってたみたい。

她在想「要怎麼才能成為你最重要的那個人」.....

どうしたら“君の一番になれるのか”って....

.....當然啦。

.....もちろん。

你對天音小姐的感情，我也知道得一清二楚。

君が天音さんを想う気持ちも、ちゃんと知ってる。

還有你對澄華醬的感情.....我也知道喔。

それに、澄華ちゃんのことを想ってる気持ちも.....ね？

兩個人都想成為你的唯一呢。

二人とも君の一番になりたがってるものね。

.....你是不是正在動搖呢？

.....揺れてるんでしょ？

一方面覺得兩個人都很重要，但另一方面.....

どっちも大切にしたいと思う一方で、

內心某個角落會擔心「這樣是不是對誰都不誠實」.....

“それは不誠実なんじゃないか”って、心のどこかで、心配してる。

.....不過呢，那只對了一半，也錯了一半。

.....けどね、それは半分正解で半分間違い。

跟多個人交往，現在已經是很正常的事情了。

複数の人と関係を持つなんて、今では当たり前のことなのに。

更何況你可是那個「戀人抽籤」中被選上的人吧？

ましてや、君はあの“恋人ガチャ”に選ばれた人なんでしょ？

擁有優秀基因的你，有多段關係是理所當然的。

優秀な遺伝子を持つ君が、複数の関係を築くなんて当然のことだし、

甚至國家都在推廣這樣的關係呢。

むしろ国がそれを推奨してるくらいなんだから。

.....所以啊，真的不需要太過緊張。

.....だからね、そんなに気を張らなくてもいいんだよ。

如果你還在猶豫的話——

もしまだ迷ってるなら——

要不要.....再多加一個人試試看？

もう一人...増やしてみる...とか？

.....我可跟她們不一樣喔？

.....私は、彼女たちとは違うよ？

就算不是你的「第一順位」我也沒關係。

君の“一番”にならなくてもいい。

我有信心可以跟大家好好相處。

みんなと仲良くやっていける自信...あるし。

所以啊.....

だから、ね.....？

那些困難的事就之後再想吧.....

難しいことはあとで考えればいいから...

現在就——來依賴我一下，好嗎？

今はただ——私に、甘えてみない？